

手漉き和紙を使った建築用資材の開発

福井県鯖江市の企業では、草木染め手漉き和紙を使用した、様々な和紙製品を製作しています。



原子力機構 敦賀本部での施工試験

草木染め手漉き和紙は、環境に優しい・劣化しにくい・通気性に優れるなどの特徴を持ちますが、その反面、耐水性・強度不足・吸湿による伸縮等の課題を持ち合わせています。そのため建築資材や屋外で使用する製品への展開は難しい状態でした。

今回、平成21年度の成果展開事業にて、**原子力機構の特許「高吸水性ハイドロゲル」**及び**「ハイドロゲル塗工和紙及びその製造方法」**を応用することで、**和紙の素材自体の強度向上や水分の制御**を行う事ができました。

また、企業の持つ特殊技術を加えることで、耐水性を上げ、品質を向上させることで、和紙素材をパネルに被覆した建築資材や、骨組みの無い和紙の照明など新たな和紙製品の開発に成功しました。



和紙で作られた恐竜（全長17メートル）
H21年12月に福井駅前にて展示



和紙製行燈
H22年4月 福井春祭りにて展示



モアイ型照明

共同特許申請

平成21年9月3日

「**和紙立体形状物の製造方法及び和紙立体形状物**」

平成22年9月15日

「**和紙被覆建築資材の製造方法及び和紙被覆建築資材**」

平成21年度 成果展開事業



原子力機構